

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		利用児童に対して十分なスペースが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		スムーズな対応、支援を行えるよう心がけている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		活動しやすい空間になるように工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		清掃、整理整頓を毎日行い、安全に配慮した環境整備を心がけている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		定期的にミーティングを行い、情報共有、意見交換をしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		評価を実施し保護者の意見を踏まえて事業所の運営の改善につなげていっている。
	7	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	第三者による外部評価を今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		可能な限り参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		スタッフ全員で個の姿を共有し、話し合いの上、意見を出している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		発達支援計画書の目標を共有し、計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		多職種で意見を出し合い、作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		週毎に行った活動を写真付きで記録をとり、反省などを書き込んでいる為、翌年にも活用しやすい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		活動の前に、利用児の様子や保護者の方からの連絡事項を共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	支援終了後は難しいので、翌日の活動の前に共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		個別に支援の丁寧な記録を取り、確認、改善に取り組んでいる。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		支援スタッフと個について話し合った後、モニタリングを行い保護者の方の意見を聞き、見直しをしている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		利用児童の状況を把握したスタッフが全員で意見を出し合い、サービス担当者会議に参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6		必要に応じて、関係機関と連携をしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6		必要に応じて、主治医や協力医療機関と連携をしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		必要に応じて情報共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		複数の事業所を利用している児に対しては、それぞれの事業所との連携はとれていると思うが、研修は出来ていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		近隣の保育施設が交流に来てくれることもある。今後は、こちらからも積極的に関わりを持っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		協議会への参加については、今後の課題と考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	5	ペアレント・トレーニングについては、今後の課題と考えている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		ご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		ご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		保護者の方から依頼があった場合や、日々の送迎時等に保護者の方とお話させていただいている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	感染症等もあり実施できていない。今後の課題と考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		翌日の活動の前に周知し、迅速な対応を心がけている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		利用時の連絡帳やHUGシステムで活動の写真を掲載したり、SNSにて日々の活動状況をお伝えしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		十分に配慮している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		十分に配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	秋に芋ほりへの行事への参加を広く呼びかけ、たくさんの参加者に来ていただきました。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	緊急対応、感染症などは周知確認しているが、防犯に関しても確認、周知、訓練していく必要がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		定期的に訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		事前に医療的ケア、服薬、発作等の状況を把握している。医療的ケアに変更があった際も、医師に指示書を変更してもらい、その指示書に基づいて実施している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		医師の指示通りに対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		迅速に対応し、再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		定期的に研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		身体拘束は行わないが、疑問に思うことなどはスタッフで意見を出し合い、考えていけるようにしている。